

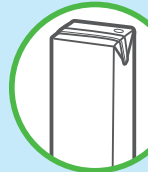
牛乳パックの開き方



や ね がた りゅうにゅう

「屋根型」牛乳パック

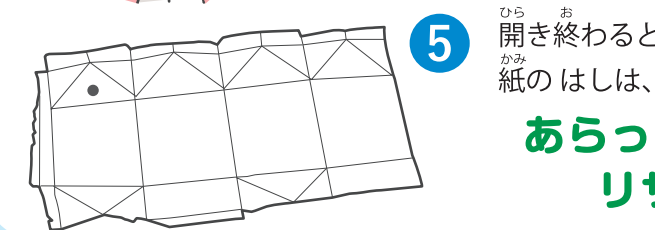
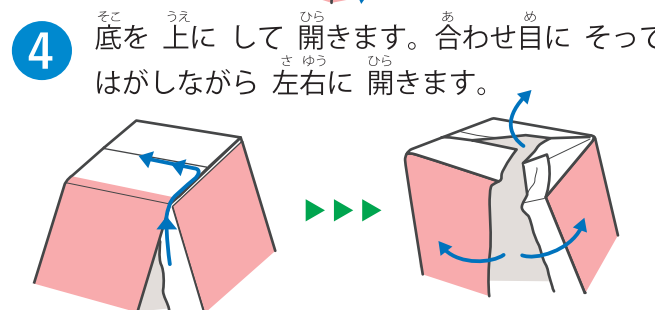
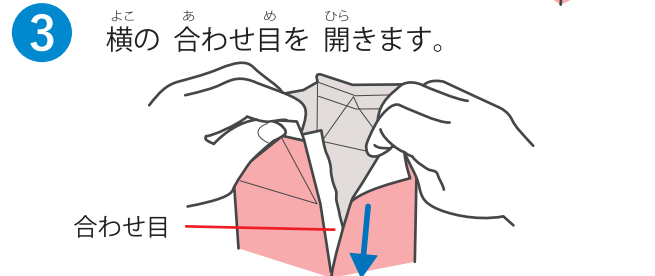
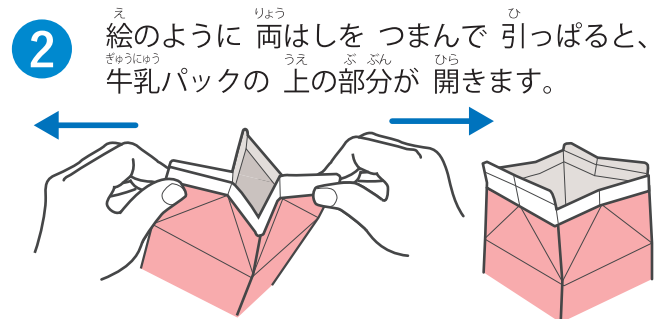
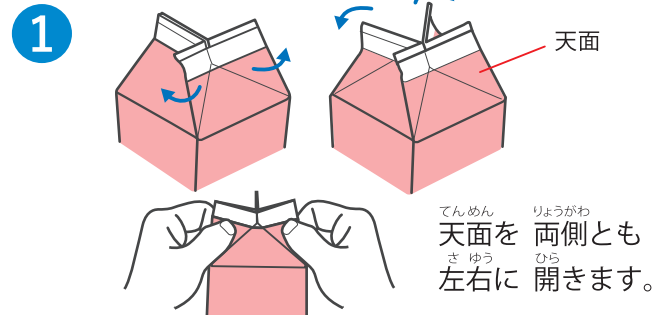
中身がのこっていることがあるので注意してください。ストローぶくろがついていたら外してください。
※ストローは適切に処理してください。



がた りゅうにゅう

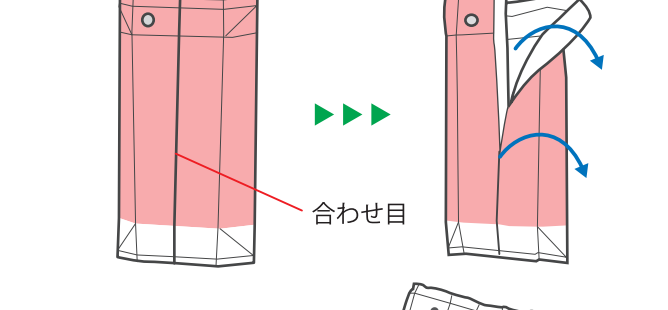
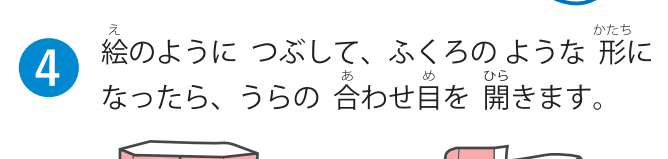
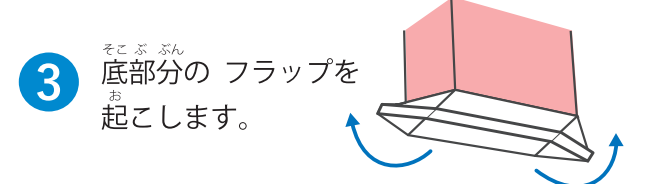
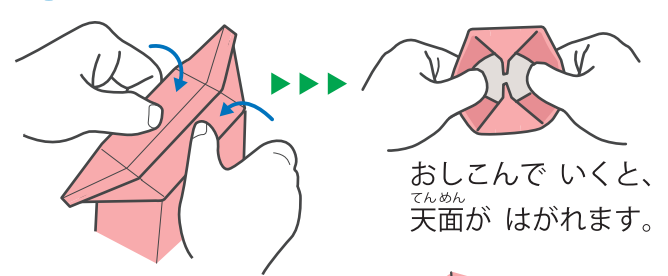
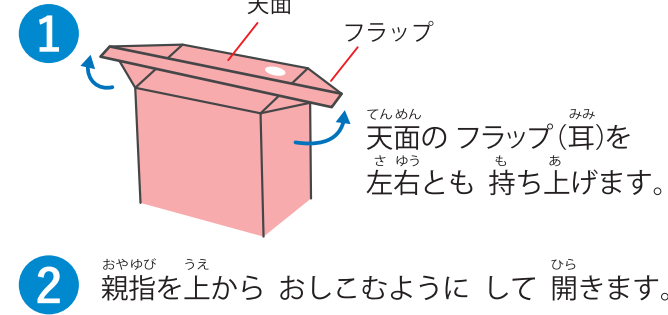
「レンガ型」牛乳パック

中身がのこっていることがあるので注意してください。ストローぶくろがついていたら外してください。
※ストローは適切に処理してください。



あらってかわかして
リサイクル！

※あらってから開いても、開いてからあらっても順番はどちらでも問題ありません。



あらってかわかして
リサイクル！

※あらってから開いても、開いてからあらっても順番はどちらでも問題ありません。

学校給食用牛乳パック

リサイクルの手引き

学校給食用牛乳パックは、食育や環境教育の教材です

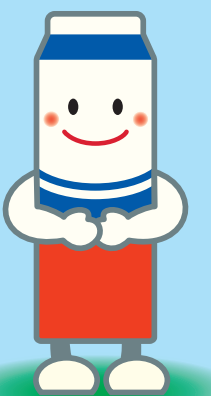
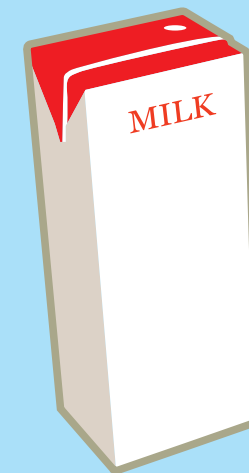
地球の限りある資源を大切に使うことを、私たちひとりひとりが考え、実践していかなければいけません。

毎日、給食を食べた後に、食器を各自で片付ける「食育」の一環でリサイクルに取り組むことができます。また、捨てずにリサイクルすることで、「環境問題」についての学習をするきっかけになります。牛乳パックは、毎日の学校生活のなかでできる、食育と資源の有効な利用を考えるための身近な教材となります。

このような理由でリサイクルを
ためらっていませんか？

- 子どもたちが自分で手開きできるかどうか、心配だ
- 乳アレルギーの児童にどう配慮すべきか不安だ
- リサイクルするための、時間がない
- 水場が近くにない
- どのように保管すればよいのかわからない

この手引きを読みながら、できることを考えてみませんか？



「できるところから、すこしずつ」
全国牛乳容器環境協議会



容環協のウェブサイトでは、牛乳パックの開き方を動画で紹介しています。

【牛乳パック手開き動画】

<https://www.yokankyo.jp/pack/movie.html>





牛乳パックリサイクルの効果と利点

- ①身近な製品に生まれ変わり、廃棄物の削減と有効な資源活用につながります。
1000mlの牛乳パック（1枚約30g）6枚、給食で飲む200mlの牛乳パック（1枚約10g）なら
およそ20枚が、それぞれトイレットペーパー1個分のパルプに相当します。
- ②二酸化炭素の発生削減につながります。
牛乳パックを回収してリサイクルした場合のCO₂排出量は、同じ量の牛乳パックを廃棄
（焼却処分）した場合のCO₂排出量の半分以下であるという調査結果があります。

*環境省請負調査「平成16年度容器包装ライフ・サイクル・アセスメントに係る調査事業報告書」より



牛乳パックが良質な資源である理由は・・・

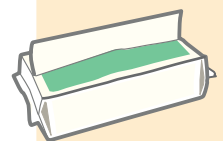


- ①牛乳パックには、繊維が長くて太い「針葉樹パルプ」が主な原料として使われています。
- ②白い紙にリサイクルしやすい、白いパルプが得られます。
牛乳パックの両面には、ポリエチレンがコーティングされています。文字
などはポリエチレンの上に印刷するので、リサイクル時に両面のポリエ
チレンを剥がすことで、内側にある白く丈夫なパルプが得られます。



※外側のポリエチレンを剥がした様子

どのようなものに生まれ変わるのか



良質なパルプを活かして、トイレットペーパーやティシュペーパーなど
身近な紙製品に再生されます。
また、剥がしたポリエチレンも、工場の燃料などに使われています。



学校でのリサイクルに関するQ&A

Q なぜ、洗って乾かすのですか？

A 牛乳パック内面に残った牛乳が腐敗したり、カビが生えたりすると、再生した紙製品の品質が悪くなるためリサイクルに向かなくなってしまいます。

Q 乳アレルギーの児童の対応について

A アレルギーが軽度の場合は、「洗って開いて」の作業はやらずに、席を離して見学させる学校が多いです。先生方には、アレルギー症状が出やすい児童の安全と、他の児童への理解・協力の促進をお願いします。また、牛乳以外の紙パック飲料もありますので、リサイクルについて、ぜひ皆さんで学んでみてください。

Q 児童が牛乳パックを手でひらけるのか不安です

A 箸の持ち方や食べ方、後片付けの仕方を教える食育の一環として、手開きの指導をしている学校がほとんどです。新1年生が慣れるまで、高学年が指導にあたる学校もありますが、ひと月くらいでできるようになります。

※裏面に児童も読める開き方の図があります。

Q 業者が引き取りに来るまでの保管方法を教えて！

A ポリ袋に入れることが多いですが、段ボール箱に詰めて保管し、そのまま引き渡す学校もあります。牛乳パックを開くことで、かさばらずに保管ができます。



牛乳パックリサイクルを実践している学校の事例を紹介します

千葉県流山市立おおたかの森小学校

流山市立おおたかの森小学校では、1年生から6年生まで、約1,500人の児童と先生方の全てが、牛乳パックリサイクルの活動に取り組んでいます。

児童は、各自飲み終わった牛乳パックを、給食トレイの上や洗い場で開いて水ですすぎ、クラスごとの水切りかごで乾かします。入学して間もない1年生には、環境委員の5、6年生が手開きを丁寧に教えます。給食が始まってひと月くらいで上手にできるようになります。



◁新1年生に高学年の児童が牛乳パックの手開きを指導する

乾いた牛乳パックは、クラスから出る他の資源物と一緒に、校内にある資源回収場所に運びます。ここでも環境委員の児童が分別の状態を確認し、適宜指導します。集まった牛乳パックは、週に2回、近くの古紙回収業者が回収します。

このように、おおたかの森小学校では、低学年から牛乳パックのリサイクルが、自然な行動として習慣化されています。



◁翌日の清掃の時間に、乾いた牛乳パックをクラスごとに資源回収場所に運び、保管する



△洗いかごに水を溜めての押し洗いを2度する

洗い終わったら▷かごに立てて乾かす



Q 水場が近くにありません。また、給食時間が短いのでこれ以上片付け作業を増やすことができません

A 飲み終わった牛乳パックを、その場で手開きします。食器を片付ける際にかごに立てかけ、当番の児童がまとめて2度、水場で押し洗いをします。また、近くに置いた「水を張ったたらい」に1回くぐらせてから洗い桶に移し、教室外の水場で本洗いをする方法もあります。各学校の制約条件を伺って、複数の事例を基に組み合わせ方を提案いたします。

牛乳パックのリサイクルを学べるウェブサイト「牛乳パックン探検隊」やDVD、その他各種パンフレットを用意しています。お問い合わせください。



お問い合わせは、ウェブサイトの問い合わせフォームへ
<https://www.yokankyo.jp/about/contact.html>

容環協 お問い合わせ



全国牛乳容器環境協議会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-14-19 乳業会館

